

授業科目 治療技術特論

【担当教員名】		対象学年	4	対象学科	理学
亀尾 徹、佐藤 成登志、非常勤講師		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 理学療法の基盤となる「思考」について考え、自己内省過程を学習する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1. 人体の機能解剖を理解する。					
2. 臨床で必要とされる実践的な評価方法を理解する。					
3. 機能解剖、生理学などの基礎医学的知識と、臨床的評価・治療との関連づけを強化する。					
4. 具体的治療技術を習得する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	クリニカルリーズニング総論・演習（1）			1～3	講義・演習、担当：亀尾 徹
2	クリニカルリーズニング総論・演習（2）			1～3	講義・演習、担当：亀尾 徹
3	クリニカルリーズニングに基づいた評価と治療（1）			1～3	講義、担当：亀尾 徹
4	クリニカルリーズニングに基づいた評価と治療（2）			1～3	講義、担当：亀尾 徹
5	関節安定化エクササイズ総論（1）			1～4	講義、担当：亀尾 徹
6	関節安定化エクササイズ総論（2）			1～4	講義、担当：亀尾 徹
7	治療演習（1）			1～4	演習、担当：亀尾 徹
8	治療演習（2）			1～4	演習、担当：亀尾 徹
9	マイオチューニングアプローチ（MTA）総論			1～4	講義、担当：佐藤 成登志
10	マイオチューニングアプローチ（MTA）各論（1）			1～4	講義、担当：佐藤 成登志
11	マイオチューニングアプローチ（MTA）各論（2）			1～3	講義、担当：佐藤 成登志
12	MTA 演習（1）			1～4	演習、担当：佐藤 成登志
13	MTA 演習（2）			1～4	演習、担当：佐藤 成登志
14	MTA 演習（3）			1～4	演習、担当：佐藤 成登志
15	MTA 演習（4）			1～4	演習、担当：佐藤 成登志
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		特になし			
参考書		マニュアルセラピーに対するクリニカル リーズニングのすべて	Mark A. Jones、Darren A. Rivett、亀尾徹監訳	協同医書	2010・10,500 円
		マイオチューニングアプローチ入門 みと麻痺に対する治療の手技	痛 高田治実	協同医書	2009・6,000 円＋税
その他の資料					
【評価方法】 出席、授業態度、定期試験			【履修上の留意点】		